

日本花き取引コード（ＪＦコード）の活用②

ＪＦコードの現行整理

ＪＦコード	品目名	系統名	色彩	名称	和名
1	ウレ		リタ	°(リタ)	
2	ウレ		ピンク・サモンピンク	ロバータ (=ホントナカ)	
3	バラ	スタンダード	アカ	クワトロリ	
:	:	:	:	:	:
13983	カーペラ	スタンダード	ピンク・サモンピンク	アンニヤ	
13985	カーペラ	スタンダード	リタ	イルムカート	
13986	カーペラ	スタンダード	ピンク・サモンピンク	オニキス	
13987	カーペラ	スタンダード	リタ	オンジウム	
13990	カーペラ	スタンダード	キロ・クリーム	スタンダード (キロ)	
13991	カーペラ	スタンダード	アカ	スタンダード (アカ)	
13992	カーペラ	スタンダード	ピンク・サモンピンク	スタンダード (ピンク)	
13993	カーペラ	スタンダード	リタ	クイン	
13995	カーペラ	スタンダード	キロ・クリーム	コンスタン	
13997	カーペラ	スタンダード	リタ	サンロー	
13998	カーペラ	スタンダード	シロショク・ハニロ	シャンタル	
:	:	:	:	:	:
53244	イチ	リンギク	シロ	シンバ	神馬
:	:	:	:	:	:
221296	イチサア		リタ	デイクシ (シリーズ)	
221297	イチサア		アカ	デイクシ スカーレット	

- 1 から連番で発番。現在、221300番まで発番されている。
- 和名は必須項目でなく名称(半角カタカナ)が基本名称となっている。カタカナ長音が、半角ハイフンになっている。先頭濁点に意味あり。
- 全農品目コードへはダイレクトにリンクはできない。(分類など経由で変換必要。)

日本花き取引コード（JFコード）の活用②

JFコードの現行整理

JFコードの例 カスミソウ シュッコンカスミソウ シロ アルタイルロング

○ JFコード詳細情報

○ 基本表(普及促進協議会形式)

JFコード	85520
最終更新日時	2012/07/26 17:02:06

	記号	名称
大分類	0	草花類
中分類	2	中品目
品目	00	カスミソウ
系統	0	シュッコンカスミソウ
色彩	0	シロ
品種名1		アルタイルLG (=アルタイルロング)
品種名2		
品種名3		Gypsophila paniculata
品種名区別記号	1	
追加内容フラグ	00	
追加バージョン	212	

大分類	8分類（0；草花類、1；球根類、2；ラン類、3；多肉サボテン、4；観葉植物類、5；木本類、6；野菜・果樹類、9；その他）
中分類	各大分類の下位階層として、合計31分類
品目	系統分類上の種や多数の品種をまとめた園芸種に相当
系統	品目の下位階層にある分類項目。その中身は花色の違いでまとめた品種群やまとまりの良い品種群や種群など

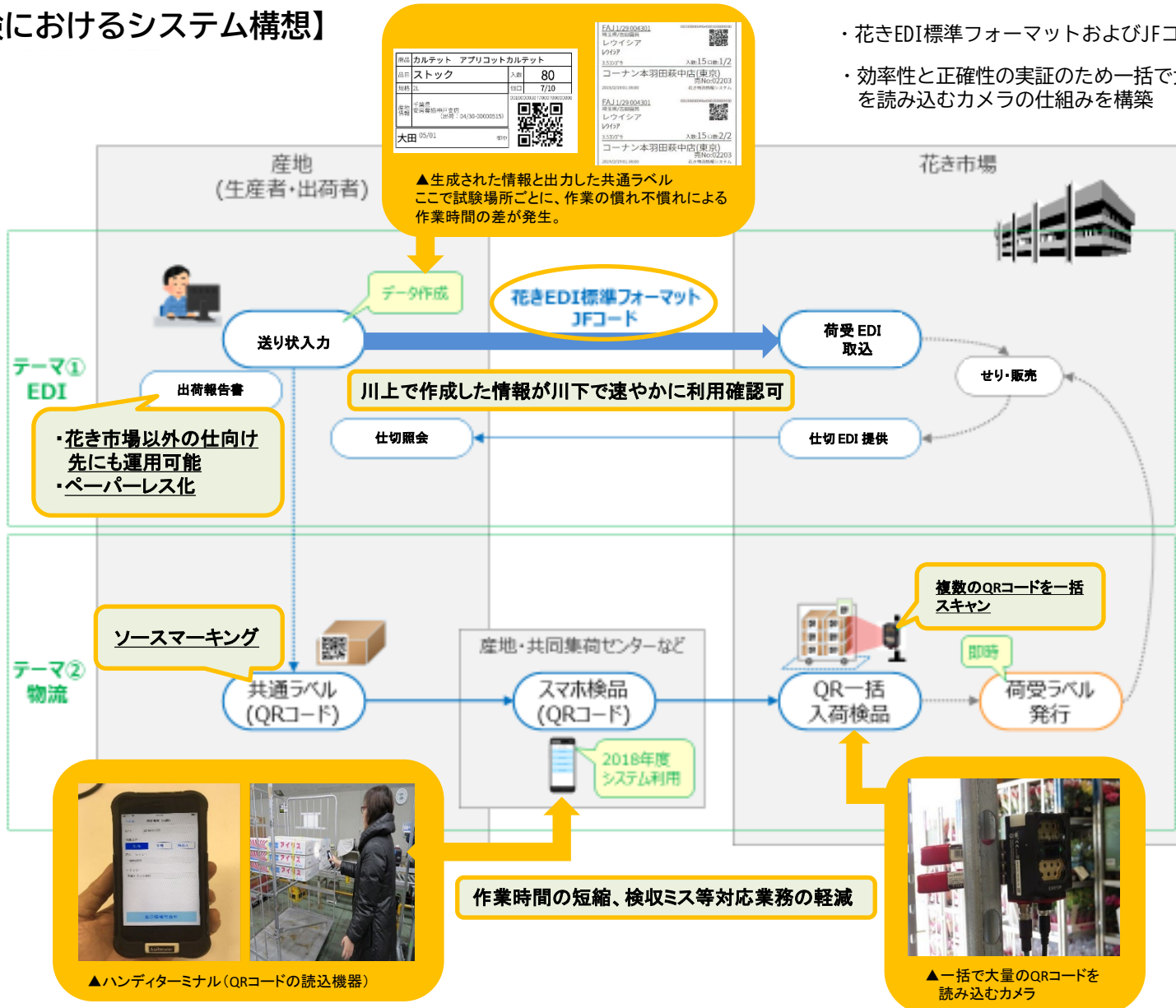
ソースマーキングの有効性の検討①

1. ソースマーキングに関する現状の整理	①発注書や送り状は一部電子化も見られる一方、現在も手書きのFAX等によるものが多い。 ②検収作業は目視によるものが多く、作業人数や作業員の熟練度合いにより作業時間が左右される。 ③電子化していてもEDI*の仕様が取引先ごとに異なるなど不統一。
2. 現状を踏まえた課題とソースマーキングの有効性の整理	目視による検収作業や手書き作業等、産地・出荷先の両方で非効率な作業、ヒューマンエラーが多く発生。 →誰もが使いやすいかつ汎用性あるシステムの構築及びそのシステム、EDIを用いた産地での情報作成等の必要性
3. 実証試験におけるシステム構想等の検討	▶システムの詳細は次ページ ▶産地でシステムを活用して情報を作成、QRコードのついたラベルとして出力及び添付（ソースマーキング）
4. 実証結果	入力作業等の慣れ不慣れによる結果の違いはあったが、共通して検収作業時間の短縮等、全体的な作業フロー効率化の効果が得られた。

* EDI: Electronic Data Interchangeの略、受発注など取引に関連するデータの電子化を指す。

ソースマーキングの有効性の検討②

【実証試験におけるシステム構想】



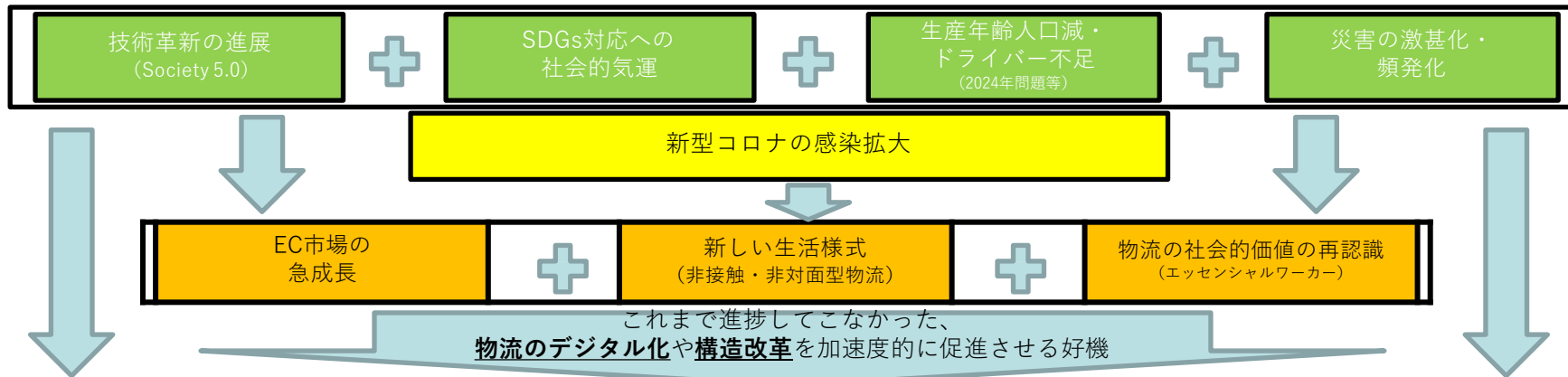
- ・花きEDI標準フォーマットおよびJFコードを搭載
- ・効率性と正確性の実証のため一括で大量のQRコードを読み込むカメラの仕組みを構築

目 次

1. 物流をとりまく状況
2. 花き流通における物流効率化の取組
3. 他の業種・品目の流通における物流標準化の取組
4. 花きの流通標準化に向けた今後の取組

総合物流施策大綱（2021年度～2025年度） 概要

出典；「総合物流施策大綱（2021年度～2025年度）概要」
（強調は農林水産省大臣官房新事業・食品産業部食品流通課による）



新型コロナ流行による社会の劇的な変化もあいまって、我が国の物流が直面する課題は先鋭化・鮮明化

①物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の徹底した最適化
（簡素で滑らかな物流）

②労働力不足対策と物流構造改革の推進
（担い手にやさしい物流）

- (1) 物流デジタル化の強力な推進
- (2) 労働力不足や非接触・非対面型の物流に資する自動化・機械化の取組の推進
- (3) 物流標準化の取組の加速
- (4) 物流・商流データ基盤等
- (5) 高度物流人材の育成・確保

③強靱で持続可能な物流ネットワークの構築
（強くてしなやかな物流）

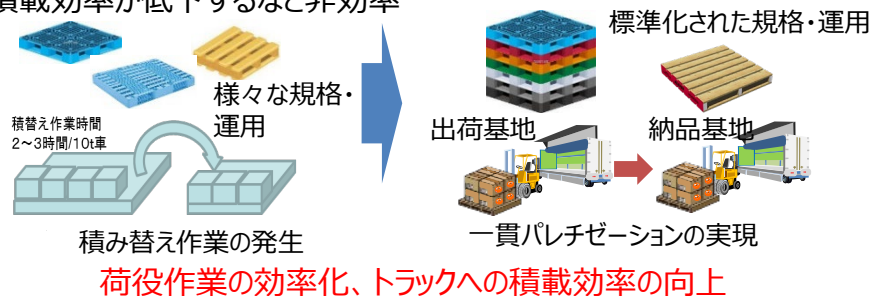
- (1) 感染症や大規模災害等有事においても機能する、強靱で持続可能な物流ネットワークの構築
- (2) 我が国産業の国際競争力や持続可能な成長に資する物流ネットワークの構築
- (3) 地球環境の持続可能性を確保するための物流ネットワークの構築（カーボンニュートラルの実現等）

- (1) トラックドライバーの時間外労働の上限規制を遵守するために必要な労働環境の整備
- (2) 内航海運の安定的輸送の確保に向けた取組の推進
- (3) 労働生産性の改善に向けた革新的な取組の推進
- (4) 農林水産物・食品等の流通合理化
- (5) 過疎地域におけるラストワンマイル配送の持続可能性の確保
- (6) 新たな労働力の確保に向けた対策
- (7) 物流に関する広報の強化

- 物流の効率化に向けた荷主・物流事業者等の関係者の連携・協働を円滑化するための環境整備として、共同化・自動化等の前提となるハード・ソフトの標準化が必要。

パレットの標準化

- 様々な規格・運用が存在していることにより、積替え作業の発生や積載効率が低下するなど非効率



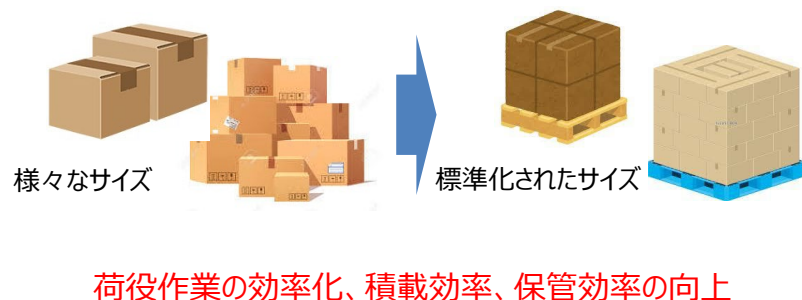
伝票の標準化

- 荷主等の事業者ごとに伝票がバラバラであり、記載項目も異なるため、荷積み、荷卸し時に非効率



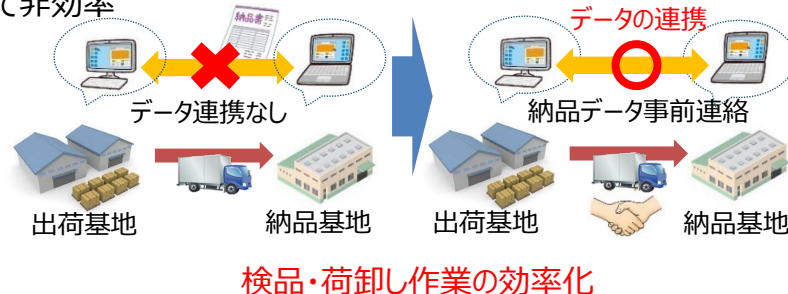
外装の標準化

- 様々な商品サイズ・形状により、パレット等への積載効率が低下するなど非効率



データの標準化

- 物流事業者と着荷主の間などで商品データが標準化された仕様で共有されていないことから納品時の賞味期限確認等の検品において非効率



概要

令和3年6月15日に閣議決定された新しい総合物流施策大綱では、取り組むべき大きな柱のひとつとして「物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の徹底した最適化（簡素で滑らかな物流の実現）」を提言。

物流DXの推進のためには、その大前提として、物流を構成するソフト・ハードの各種要素の標準化が必要不可欠。長年の課題であった物流標準化を実現するため、長期的視点でその課題や推進方策を議論・検討するため「官民物流標準化懇談会」を設置・開催。

●第1回 官民物流標準化懇談会（令和3年6月17日）

- ・物流標準化の重要性や意義、検討すべき課題や、議論にあたって留意すべき観点等について確認。
- ・懇談会の下に個別の標準化テーマごとの分科会を設け、専門家の意見等も聞きながら標準化の方策について検討を進めていくことを決定。
- ・具体的には、まずは先行的に物流機器（パレット等）の標準化について検討する分科会の設置・開催を決定。

●第2回 官民物流標準化懇談会（令和4年7月28日）

- ・物流をとりまく全ての関係者に向けて、物流標準化の必要性和取組を呼び掛け。
- ・「パレット標準化推進分科会」中間とりまとめを受けた今後の対応や、その他の物流標準化の取組について議論・検討・発信。

●パレット標準化推進分科会

※第1回懇談会での議論を受けて、懇談会の下に設置・開催

第1回：令和3年9月7日

第2回：令和4年1月18日

第3回：令和4年3月1日

第4回：令和4年5月12日

中間とりまとめ公表：令和4年6月27日

「官民物流標準化懇談会」構成員（五十音順、敬称略）

荒木 毅	日本商工会議所 社会資本整備専門委員会委員長 （富良野商工会議所会頭）
池田 潤一郎	一般社団法人日本物流団体連合会 会長
岩村 有広	一般社団法人日本経済団体連合会 常務理事
内田 富雄	一般財団法人日本規格協会 業務執行理事
神林 幸宏	全国農業協同組合連合会 常務理事
栗島 聡	公益社団法人経済同友会 幹事
神宮司 孝	株式会社日立物流 代表執行役副社長
高岡 美佳	立教大学経営学部 教授
寺田 大泉	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事
長尾 裕	ヤマトホールディングス株式会社 代表取締役社長 社長執行役員
根本 敏則	敬愛大学経済学部 教授
二村 真理子	東京女子大学現代教養学部 教授
堀切 智	日本通運株式会社 代表取締役副社長
松本 秀一	S Gホールディングス株式会社 代表取締役
馬渡 雅敏	公益社団法人全日本トラック協会 副会長
味水 佑毅	流通経済大学流通情報学部 教授
米田 浩	一般社団法人日本倉庫協会 理事長
高橋 孝雄	農林水産省 大臣官房総括審議官（新事業・食品産業）
茂木 正	経済産業省 商務・サービスグループ審議官
堀内 丈太郎	国土交通省 自動車局長
鶴田 浩久	国土交通省 公共交通・物流政策審議官

※名簿は令和4年7月28日時点

業種分野横断的な物流標準化の取組

・官民物流標準化懇談会

議題：ハード・ソフト含むすべての物流各項目（パレット・外装サイズ、外装表示、伝票、データ・物流用語等）の業種分野横断的な標準化

パレット

- パレット標準化推進分科会 中間とりまとめ(令和4年6月27日公表)
- ・パレット標準化推進分科会

日本物流団体連合会・
物流標準化調査小委員会

【ソフトの標準化】SIPスマート物流サービス

- 物流標準ガイドライン -ver.1.0- (令和3年10月15日公表)



業種分野ごとの物流標準化の取組

加工食品分野

- 加工食品分野における物流標準化アクションプラン (令和2年3月27日公表)
- ・加工食品分野における物流標準化研究会
- ・加工食品分野における物流標準化アクションプラン フォローアップ会

青果物分野

- 青果物流通標準化ガイドライン骨子 (令和4年4月15日公表)
- ・青果物流通標準化検討会

紙加工品分野

- 紙加工品（衛生用品分野）におけるアクションプラン (令和4年4月18日公表)
- ・紙加工品（衛生用品分野）物流研究会

菓子（スナック・米菓）分野

- 菓子物流（スナック・米菓系）におけるパレット標準化ガイドライン (令和4年5月20日公表)
- ・菓子パレット標準化促進協議会